



木工製品の塗装



屋内外で目にする木工製品、屋内においてもホコリ、カビ等から色艶のトーンダウンが発生してしまいます。ましては、屋外に置かれている木工製品となれば、風雨、虫等の影響を受け製品そのものが劣化し性能が低下してしまいます。

本校でも南棟 1F 各教室から校庭への通用口外には、下駄箱が置かれています。自然との調和を踏まえ天然材で出来ています。毎日強い日差しを浴びたり、雨がかかったりで性能の低下が早まり、これを防ぐための手段を考えなければ耐用年数に満たないうちに腐ってしまったたりも考えられます。

今回は、天然材の保護手段をご紹介します。



「天然木材」

☆塗装用オイル(基本的に木材の木目をそのまま保持する)

・液体なのでハケ等を使い木材に染み込ませることで、天然木の良さを演出でき、木材の保護も可能となります。

☆ワックス

・固形と半練り状態のものが、単に布などを活用し塗り込むことで木材の表面を守ることも出来ます。



※塗装用オイル、ワックスの場合、スポンジ等に付けてムラの出来ないように、右、左を繰り返してすり込む。
また最後は、布などで乾拭きをする。



「合板、鉄、プラスチック等」

☆ペンキ(着色が出来る)

- ・油性(臭いが強い、薄める時はシンナーを使う)
- ・水性(ほぼほぼ臭いはない、薄める時は水を使う)
- ☆ニス(着色も可能ですが、木目を出すことも可能)
- ・油性(臭いが強い、薄める時はシンナーを使う)
- ・水性(ほぼほぼ臭いはない、薄める時は水を使う)

